

佳作

## 輝く世界

京都府 京都市立桃山中学校三年 藤田 愛咲子

夜景はいつ見てもキラキラ輝いていて、まるで宝石のようです。私は小さいころから夜景が大好きでした。幼稚園くらいの頃は「きれいだな」と思って、家の近くの坂の上から時々夜景を見ていました。夜景を見ると、なぜか心が落ち着くような気がしていました。

最近、つらいことがあって久しぶりに夜景が見たくなり、子供のころから見慣れている家の近くとても静かな坂の上から夜景を見ていました。始めは、輝く夜景をただただみつけていました。

突然目をつむってみたらどうなるのか気になって、つむってみました。その瞬間驚くべきことが起こりました。今までいた世界とは違う世界に迷い込んでしまったのかと思うほどでした。

それまでもとても静かだと思っていた世界が突然動

き出したのです。遠くを走っている電車や車の音、かすかな人の声やテレビの音、水の流れる音……。私の頭の中で、会ったことも、見たこともないたくさんの人々が一斉に家事をしたり、仕事をしたり、電車に乗ったり、勉強したりし始めました。

そしてしばらくして目を開けると、これまで夜景の全体しか目に入ってこなかったのに一つ一つの光に目が行き、一つ一つの光が生きていると感じました。いろんな光を見ているうちに「きつとその光の近くでは、誰かが動いて何かをしている。このたくさんの方の下でたくさんの方が思い思いに動いている。世界中の人や物が動いている」ということに気が付きました。そして、たくさんの方の生活がみえたような気がしました。

そう思うと世界中には本当にたくさんの方がいて、私には見えていないところにも、もっとたくさんの方がいるのだ。そしてその人たちはみんないろんなことをしているのに、その瞬間に何かに成功した人や、逆に失敗してしまった人、その瞬間に私を感じていることと同じことを思っている人が一人もいないわけではないと思ってきました。だから、たとえ私が何か失敗してしまった時にも、私と同じように失

敗してしまった人もいるだろうし、その経験をしたことがない人なんか、ほとんどいなくて、皆それを乗り越えてきたのだろうから、必ず乗り越えられるはずだという気がして、少し元気をもらえました。

私はそのことに気付いてから、少し悲しくなった時や、何か失敗してしまったりときは、以前よりもよく夜景を見に行くようになりました。すると不思議と気持ちが落ち着いて、たくさんの方に応援されているように思えてきます。あの時目をつむってみて良かったと思います。

夜景は、そこに、そして世界中に人が生きていることの証で、どの光をとってみてもきれいな夜景の様に、どんな人の命も、キラキラ輝いているのだと思います。